

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスモモの家		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 7日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 7日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士が在籍し、発達段階に応じた小集団療育を行い、集団の中での経験を大切にしている点	構造化や見通しの提示、季節感のある活動など、参加しやすい工夫を行っています。	活動のねらいや意図をより分かりやすく伝えながら、子どもの成長に応じた集団支援の質をさらに高めています。
2	保護者や子どもの気持ちやニーズに寄り添った共感的な支援を大切にしている点	個別支援計画をもとに、子どもの小さな変化や成長を共有しながら支援を積み重ねています。日々の様子を職員間で共有し、子どもの状態に応じてかわり方や活動内容を調整しています。	ケース検討や研修を通してアセスメント力を高め、支援の質の向上を図ります。引き続き、子どもの発達段階やニーズに応じた活動内容の充実に取り組んでいきます。
3	安心感を持って「楽しい」「また来たい」と実感できる支援を提供している	来所を楽しみにできる環境づくりに努めています。主体的に取り組む機会や肯定的なかかわりを意識した支援を行っています。	一人ひとりの興味関心や発達段階に応じた活動を取り入れながら、成功体験や肯定的なかかわりを積み重ねることで、自己肯定感の向上や社会性の育ちにつながる支援を継続していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子どもや他機関との交流の機会が限られている点	地域とのつながりを意識した活動や交流の機会を設定することが難しい状況です。	保護者のニーズを踏まえ、必要に応じた情報提供や交流の在り方について検討していきます。
2	保護者同士の交流機会の少なさ	家族が参加できる研修会や情報共有の場の開催を行っていません。	保護者の要望などをうかがいながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
3	建物構造や設備面により、運動時のスペースやバリアフリー化が十分とはいえない	建物の構造(2階・階段のみ)やスペースによる制約があり、すぐに改善が難しい状況です。	安全面に配慮しつつ、階段の上り下りの補助や活動内容など、安心して利用していただける工夫を行います。